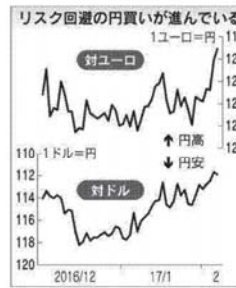


ニュース再チェック!

円、欧米リスク警戒



円高要因

欧州政治に不透明感
ユーロ圏の選挙結果は、ドイツでも世論調査で、メルケル首相のキリスト教民主同盟(CDU)の支持率が低下し、左派の社会民主党(SPD)の支持率が上昇している。また、フランスでは、国民戦線(NFI)の支持率が急上昇している。この結果、ユーロ圏の政治情勢は不透明になり、円高要因の一つとなっている。

2カ月ぶり高値、一時111円台半ば
欧米の政治情勢が不透明になり、円高要因の一つとなっている。7日の東京市場では、円高要因の一つとなっている。円高要因の一つとなっている。

円高要因
先行する欧米の選挙結果は、円高要因の一つとなっている。円高要因の一つとなっている。

トランプ氏口先介入
トランプ氏の発言が円高要因の一つとなっている。円高要因の一つとなっている。

円高要因
先行する欧米の選挙結果は、円高要因の一つとなっている。円高要因の一つとなっている。

円安要因
米経済政策に注目。米経済政策に注目。米経済政策に注目。

円安要因
米経済政策に注目。米経済政策に注目。米経済政策に注目。

世界では市場に影響を与えそうな重要日程が目白押し
2月 日米首脳会談
3月 オランダ総選挙
4-5月 仏大統領選
9月 ドイツ総選挙
秋 中国共産党大会

円安要因
米経済政策に注目。米経済政策に注目。米経済政策に注目。

欧米政治の不透明感が金融市場を揺らしています。トランプ大統領の就任以降、その発言で円相場は乱高下しています。

今年にはEU各国で大きな選挙が続きます。各国とも現政権には逆風が吹き、反グローバル化を掲げる極右政党が勢いづいています。昨年の英EU離脱と米大統領選挙に続き、今年にはどのようなサプライズがあるのかと、投資家は政治リスクに敏感になっています。米欧の政治リスクを警戒し、為替市場では安全資産としての円買いによる円高が進む傾向が高まっています。また、無国籍通貨である金の人気も高まり、金の価格が上昇しています。

4月からのフランス大統領選で極右政党「国民戦線」のルペン党首に有利な情報が伝わるだけで、7日の東京市場で円はユーロに対してだけでなくドルに対しても値上がりしました。

米商務省は7日、2016年の貿易統計(通関ベース)を発表しました。米国のモノの貿易赤字は7343億ドル。対日赤字は689億ドル(約7兆7千億円)となり、3年ぶりに中国の3470億ドルに次ぐ2位に浮上しました。トランプ氏が言及する自動車関連の対日赤字は526億ドル。日本の自動車各社は北米依存を強めています。モノの貿易では赤字の米国ですが、金融やITなどサービス収支は巨額の黒字を計上しています。米国産業はモノからサービスへと産業構造の転換が進み、貿易全体の3分の1をサービスが占めています。金融やITといった分野では、米国は国際市場で一人勝ちです。

米国時間10日、注目の日米首脳会談が開かれました。潔癖症で握手嫌いのトランプ氏が安倍首相と長い握手をするなど会談は友好ムード。懸案の為替や経済問題には言及せず、日米同盟を確認する内容になりました。これに合わせるかのような北朝鮮の弾道ミサイル発射もあり、安倍首相の思惑通りトランプ大統領との信頼関係は深まったのでしょうか。

多読! 日本! Toughness Nippon

いくらいいものを作っても、それを伝える人がいなければ草陰で眠っていることはよくある。

日経ヨクコムワンポイントレッスン

「メディアリテラシーを養おう」



「フェイクニュース」、日本語では「偽ニュース」が話題です。「ローマ法王がトランプ氏を指示した」「クリントン氏がイスラム国に武器を売却した」などのニュースがSNSで広く拡散され、大統領選に影響を与えたとされています。

正しい情報と偽の情報を読み解く、すな

わち「メディアリテラシー(メディアを読み解く力)」が必要なのです。メディアリテラシーを養うには、出所がはっきりしているニュースにふれること。つまり、新聞やテレビのきちんと取材されたニュースということです。そして、そのニュースを俯瞰してみて、自分自身で考えることが大切なのです。